

<目次>

1. 実験の目的
2. 実験概要
3. 実施状況
4. 実施結果
5. 検証に向けた調査
6. 【別紙】バス停の製作について

▼ 社会実験のロゴ

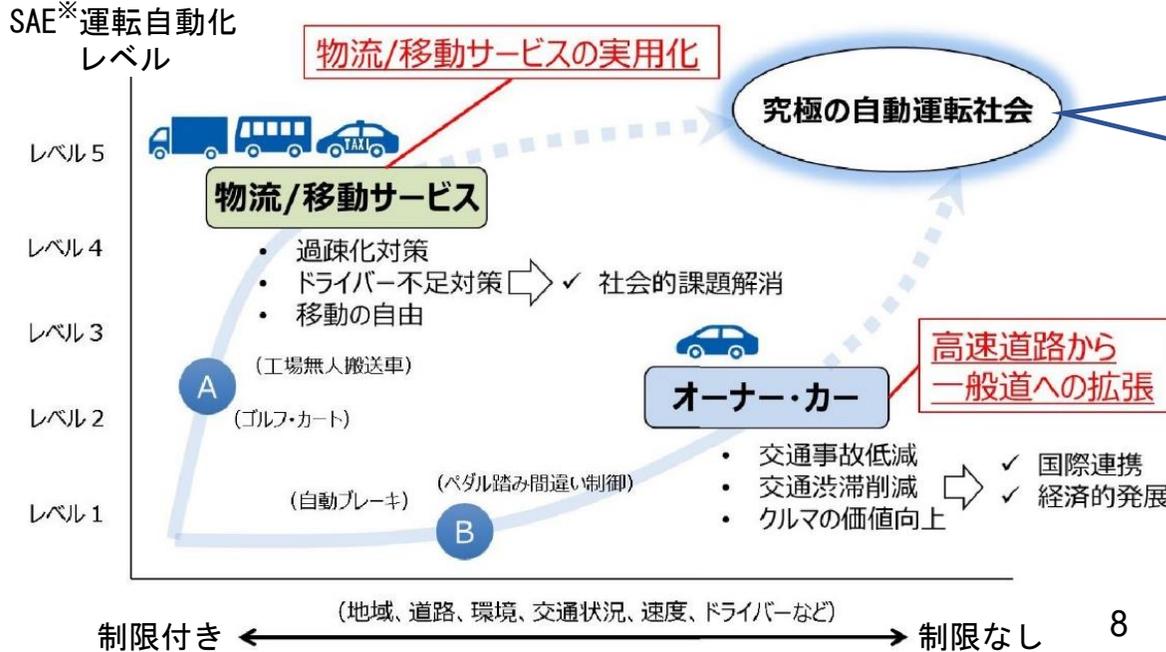


1. 実験の目的

下図の実現はまだ将来

<自動運転技術が活用された将来道路ビジョン(2040年)>

■ 自動運転社会実現へのシナリオ



※SAE (Society of Automotive Engineers) : 米国の標準化団体
出典：内閣府資料 (SIP第2期自動運転(システムとサービスの拡張))

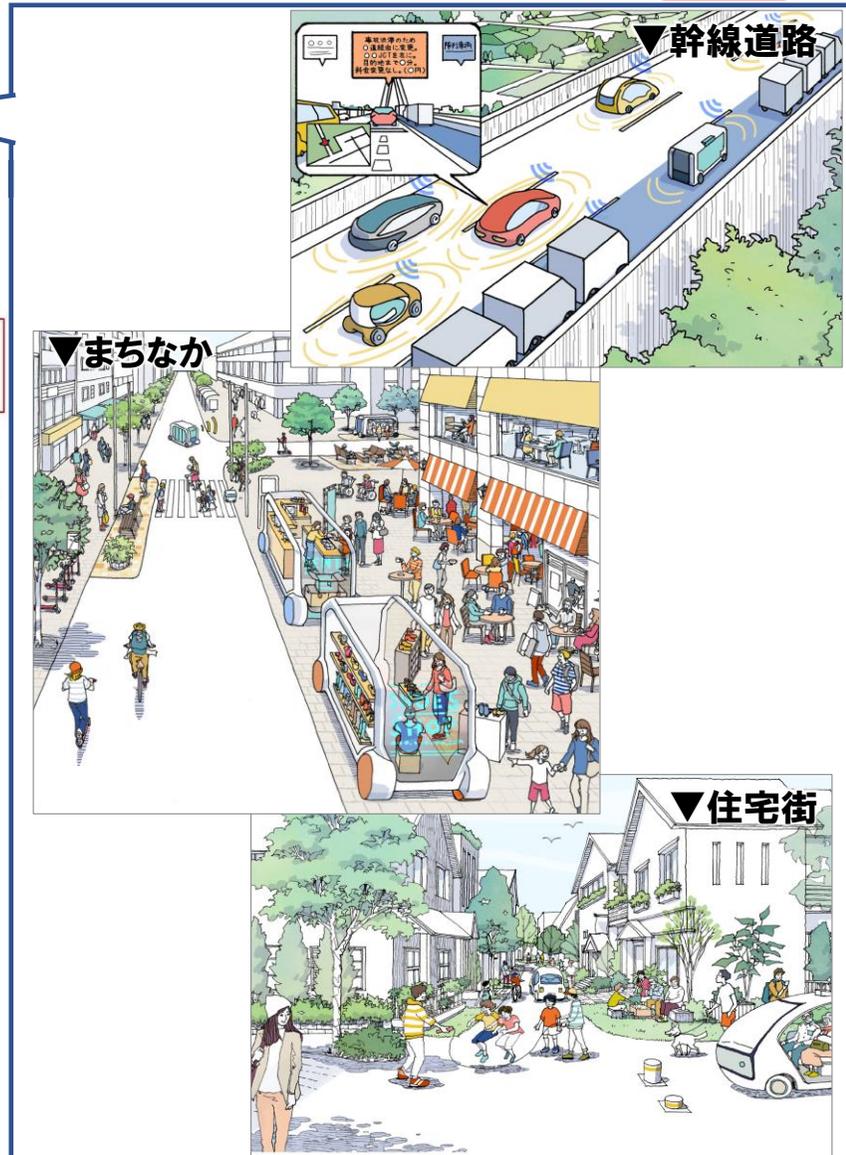
現在は自動運転車両が走れる箇所は制限があり、街中どこでも走行するのは長期的な将来。

■ 実験の目的

実験車両を自由な使い方をしてもらいながら、顕在化していない移動・輸送のニーズを把握。

結果を踏まえ、

自動運転ネットワークと優先的に導入すべき区間を検討、並行して、拠点づくり・アプリ等を検討



出典：社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会 提言
道路政策ビジョン「2040年、道路の景色が変わる」より抜粋

2. 実験概要

■実験の概要

項目	内容
実験期間	12月9日（木）～15日（水）1週間
運行時間	6時～18時 計12時間
利用車両	ハイエース (10人乗り) 1台 ※自動運転ではない
運行エリア	付知町地区内内
運行方法	■時間帯を決めて多様な使い方 ①予約に応じてルートを定めず運行 ⇒タクシーのような利用方法 ②決められたバス停、ルートを巡回 ⇒循環バスのような利用方法 ③商品の輸送 ⇒移動販売車のような利用方法
利用者登録	不要
利用料	無料
予約	一部必要 →予約用のWEBアプリを開発

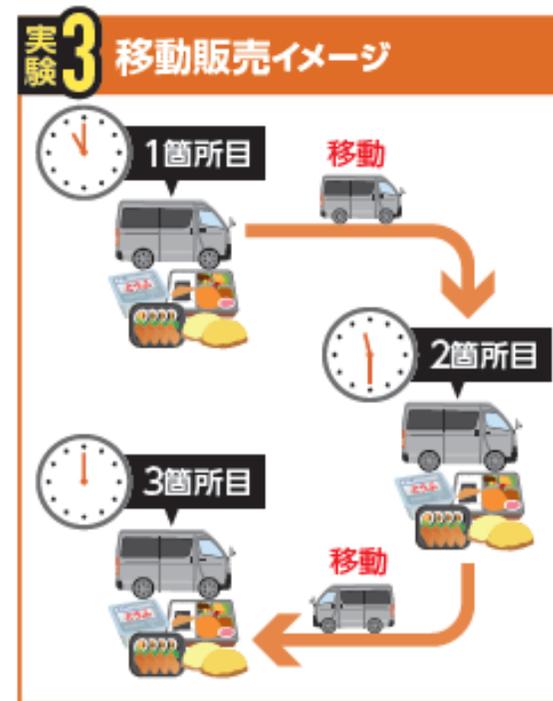
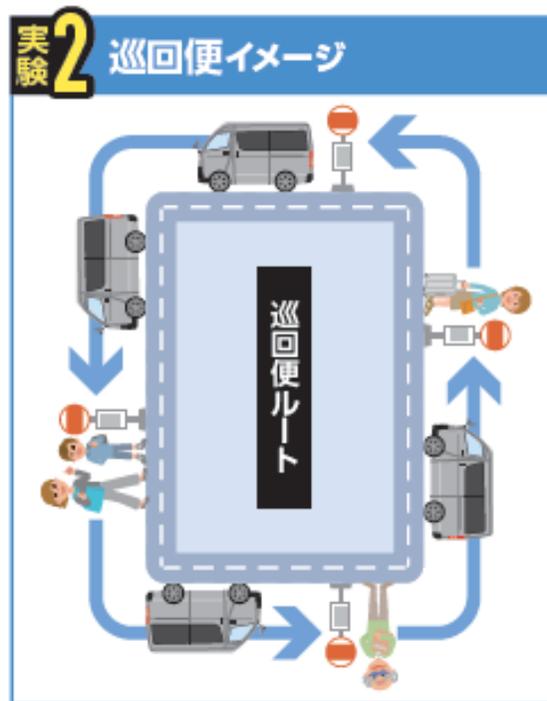


■運行エリア



2. 実験概要 3つの実験

・ 時間帯と曜日で異なる、3種類の方法で実験を行った。



2. 実験概要 実験1：地区内人・物どこでも輸送

資料6

■実験1：地区内人・物どこでも輸送 実験の概要

項目	内容
方法	<ul style="list-style-type: none">付知町地区内を、タクシーのように予約に応じて車両を走らせる。人だけでなく、荷物だけの輸送も実施。
実験日	実験期間中 毎日
運行時間	① 6:00～8:00 ② 11:00～13:00 ③ 16:00～18:00 〈②は10日・11日・15日運休〉
予約	必要 <ul style="list-style-type: none">WEBアプリ または 電話窓口（まちづくり協議会）運行時間内で、20分毎の予約枠を用意、予約の成立は先着順。
運行条件	<ul style="list-style-type: none">運行サービス区域内に起終点があるもの。乗車人数は5名まで荷物は、段ボール3箱まで 

■ご利用の流れ

1 予約

WEBアプリ、電話窓口を用いて、当日、または翌日の便を予約可能。

予約時に必要内容

- ①予約時間（毎時00分、20分、40分）
- ②お名前 ③電話番号 ④出発地
- ⑤目的地 ⑥人が乗車するか、荷物のみか

2 車両待ち

予約時間から10分以内を目途に出発地に車両が向かう。

3 乗車

ご予約名を確認

4 降車

< 実装した予約用WEBアプリ >

▼トップ画面

人・物どこでも輸送の予約

予約可能な時間(本日と明日の便を予約できます)

選択してください

氏名

付知 太郎

電話番号(ハイフンなし)

固定電話の場合は、市外局番からご入力ください

出発地

選択してください

目的地

選択してください

※出発地・目的地は運行サービス区域内としてください

参考マップを開く

人・物の輸送

選択してください

※乗車は最大5名まで・荷物は段ボール3箱まで

登録する

実験期間(12月9日~15日)以外の予約は無効です

▼出発地・到着地の選択

実験用に設置した22箇所のバス停からの選択するほか地図上での選択、住所等の自由入力が可能とした

出発地

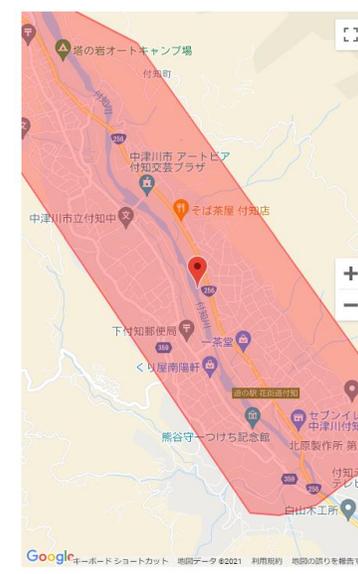
自由入力(住所・ランドマーク)

選択してください

自由入力(住所・ランドマーク)

地図から入力(緯度・経度)

- 1 花街道付知
- 2 安楽満
- 3 子安神社
- 4 広野
- 5 付知総合事務所
- 6 新田
- 7 藤山
- 8 ヤマニシ
- 9 辻堂
- 10 おんぼいの湯
- 11 桜屋町
- 12 秋津
- 13 回生堂医院
- 14 さのや
- 15 上見屋
- 16 ヤマニシ
- 17 若宮神社



SMSで予約確認とキャンセルができるURLの送付

2. 実験概要 実験2：巡回便

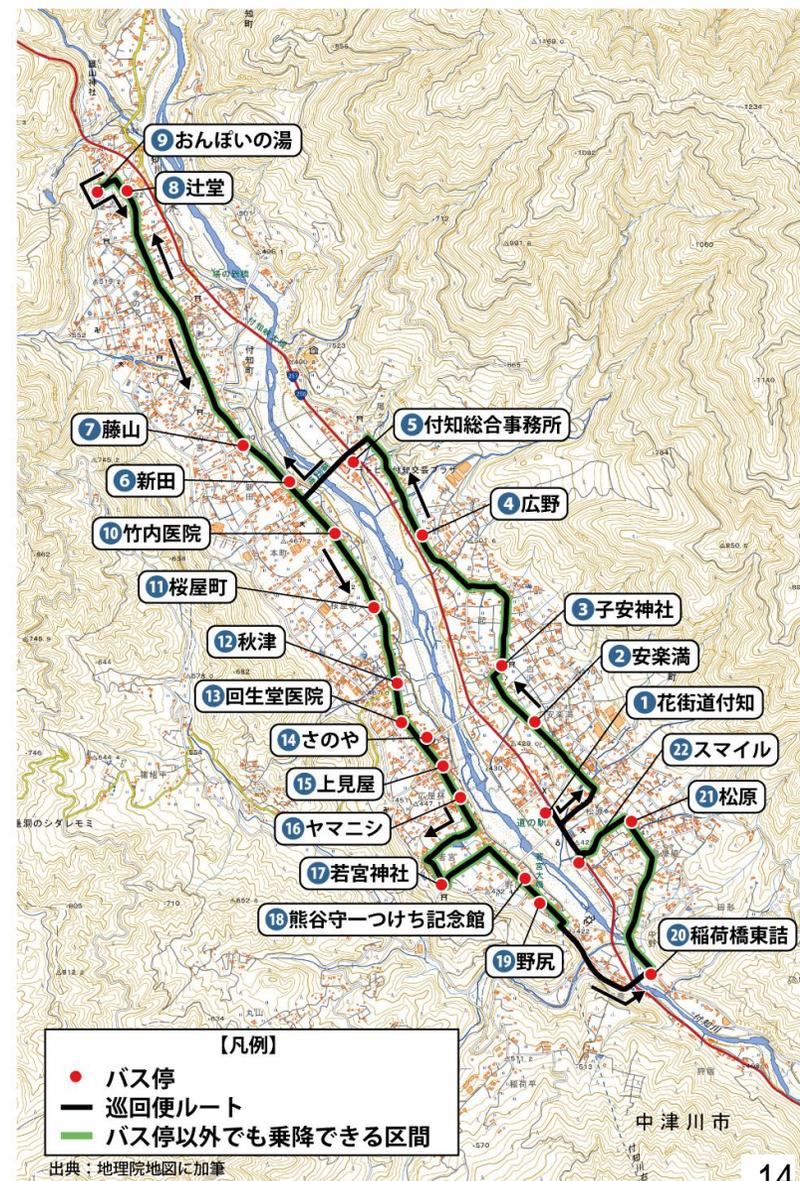
■実験2：巡回便 実験概要

項目	内容
方法	<ul style="list-style-type: none"> 地区内を定時、定路線で運行。 バス停以外でも、自由に乗降できる区間を設定。
実験日	実験期間中 毎日
運行時間	午前 8:30~10:30 午後 13:30~15:00 それぞれ2便運行
予約	不要

▼時刻表

バス停名	午前		午後	
	1便	2便	1便	2便
1 花街道付知	8:30	9:30	13:30	14:30
2 安楽満	8:32	9:32	13:32	14:32
3 子安神社	8:33	9:33	13:33	14:33
4 広野	8:35	9:35	13:35	14:35
5 付知総合事務所	8:39	9:39	13:39	14:39
6 新田	8:40	9:40	13:40	14:40
7 藤山	8:41	9:41	13:41	14:41
8 辻堂	8:44	9:44	13:44	14:44
9 おんぼいの湯	8:48	9:48	13:48	14:48
7 藤山	8:52	9:52	13:52	14:52
6 新田	8:53	9:53	13:53	14:53
10 竹内医院	8:54	9:54	13:54	14:54
11 桜屋町	8:55	9:55	13:55	14:55
12 秋津	8:56	9:56	13:56	14:56
13 回生堂医院	8:57	9:57	13:57	14:57
14 さのや	8:58	9:58	13:58	14:58
15 上見屋	8:59	9:59	13:59	14:59
16 ヤマニシ	9:00	10:00	14:00	15:00
17 若宮神社	9:02	10:02	14:02	15:02
18 熊谷守一つけち記念館	9:04	10:04	14:04	15:04
19 野尻	9:05	10:05	14:05	15:05
20 稲荷橋東詰	9:07	10:07	14:07	15:07
21 松原	9:09	10:09	14:09	15:09
22 スマイル	9:10	10:10	14:10	15:10
1 花街道付知	9:11	10:11	14:11	15:11

▼路線図



今回実験用に22箇所を設置



バス停

2. 実験概要 実験3：移動販売

資料6

■実験3：移動販売 実験概要

項目	内容
方法	地元の商店に協力いただき、お弁当等を販売。
実験日	<ul style="list-style-type: none"> ・10日（金） ・11日（土） ・15日（水）
販売場所	<ul style="list-style-type: none"> ・付知総合事務所 ・上見屋 ・道の駅 花街道付知 ※付知総合事務所は11日（土）の販売なし
協力商店	<ul style="list-style-type: none"> ・上見屋 ・おやつと刺繍03 ・つけち農産加工グループ ・やまにし

▼移動販売 商品ラインナップ

上見屋



・弁当／700円

おやつと刺繍03



・レモンケーキ／250円
 ・ショートブレッド／230円
 ・三日月クッキー／230円

つけち農産加工グループ



・梅干し／650円
 ・お菓子各種／260円
 ・かぶの漬物／260円
 ・豆腐／230円

やまにし



・みそ／400円
 ・いなり寿司+巻き寿司／400円
 ・醤油／400円
 ・いなり寿司／300円

▼学童の送り迎えで利用



▼道の駅への野菜の出荷で利用



▼業務用の荷物（チラシ）を配達



<感想>

学童の送り迎え



夕方の忙しい時間に、子供を自宅まで送ってもらえれば、空いた時間を家事に使えます。

業務用の荷物（チラシ）を配達



1人で店番をしているので、ちょっとしたものを持っていくのも、1度店を閉める必要があります。荷物を届けてもらえると助かります。

▼買い物で利用



<感想>



移動は友人や親戚にお願いしているのですが、ちょっと何かほしいときに、すぐには出掛けられません。このような移動ができれば便利です。

▼巡回便の運行中に、移動販売の商品を受け取り。貨客混載で運行しました！



3. 実施状況 実験3：移動販売

▼付知総合事務所



▼上見屋



▼道の駅 花街道つけち



<感想>



商品を近くまで売りに来てもらうと、温かくおいしいものが食べられて、うれしいですね。

- 社会実験 1 週間での利用者数等は以下のとおり。

運んだ人の数

89 名

運んだ荷物の数

16 セット

商品購入者

65 名

販売した商品数

271 個

4. 実施結果

実験 1 : 地区内人・物どこでも輸送

資料6

- ・ 昼の時間帯の利用率が約 4 割と最も高い。

▼実験 1 : 地区内人・物どこでも輸送 予約状況

時間帯		9 (木)	10 (金)	11 (土)	12 (日)	13 (月)	14 (火)	15 (水)	予約枠	予約数	予約率
朝	6:00								42	11	26%
	6:20	<特別予約> 農家5軒の野菜を集荷し、道の駅へ出荷									
	6:40										
	7:00										
	7:20										
	7:40										
昼	11:00								24	10	42%
	11:20										
	11:40										
	12:00										
	12:20										
	12:40										
夕	16:00								42	11	26%
	16:20										
	16:40										
	17:00										
	17:20										
	17:40										
予約枠		18	12	12	18	18	18	12	108		
予約数		8	6	4	3	6	3	2	32		
予約率		44%	50%	33%	17%	33%	17%	17%	30%		

【凡例】

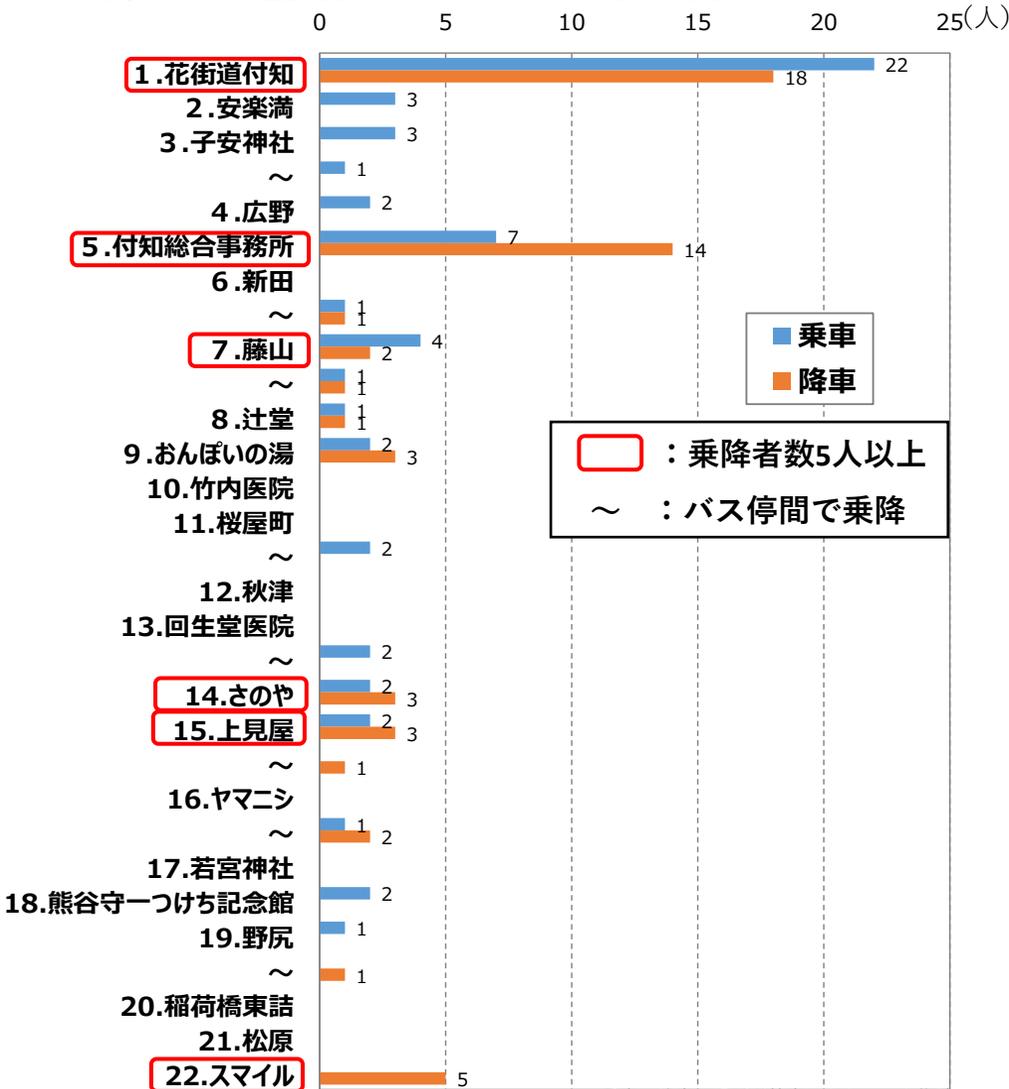
<予約枠>

- 利用なし
- 人の輸送
- 物のみ輸送
- 予約不可

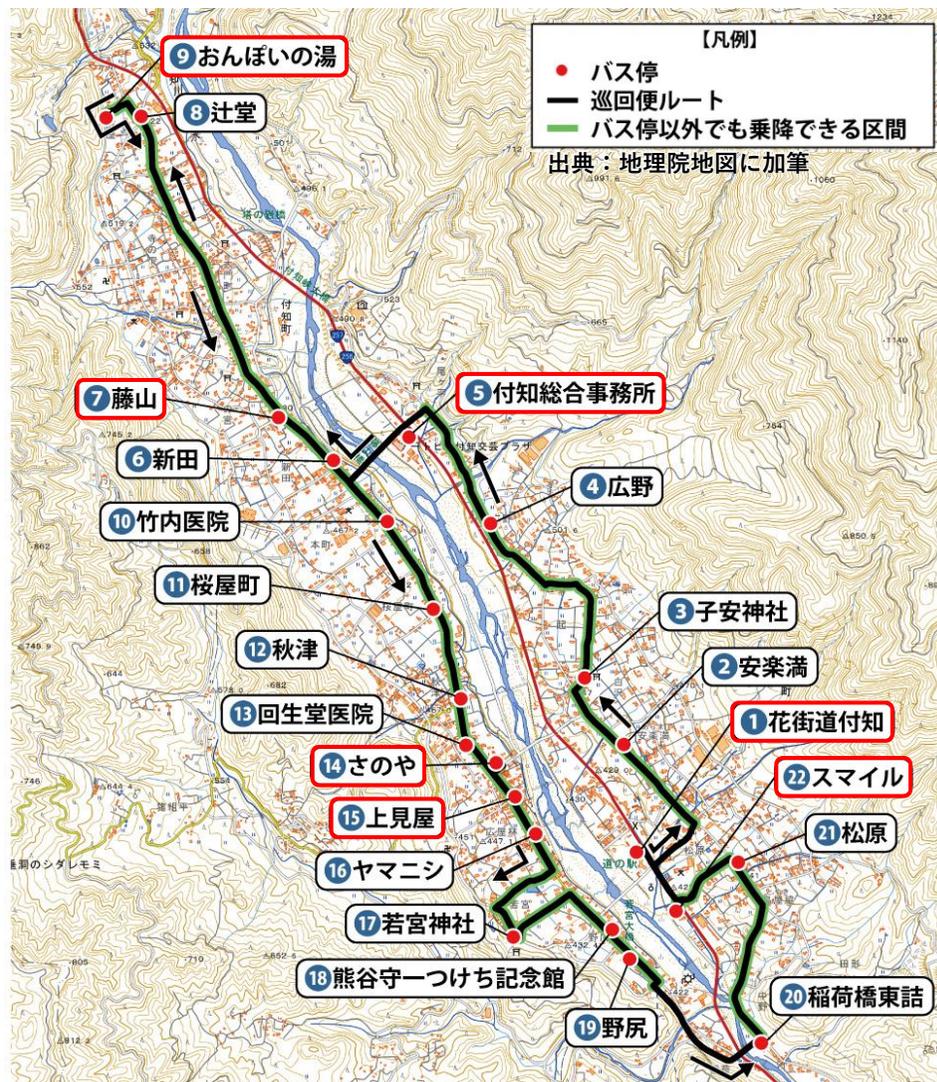
4. 実施結果 実験2：巡回便

- 「1.道の駅 花街道付知」と「5.付知総合事務所」に利用が集中。
- スーパーの「14.さのや」、「22.スマイル」の他、「7.藤山」、「15.上見屋」での利用が多い。

▼実験2：巡回便 バス停別の乗降者数



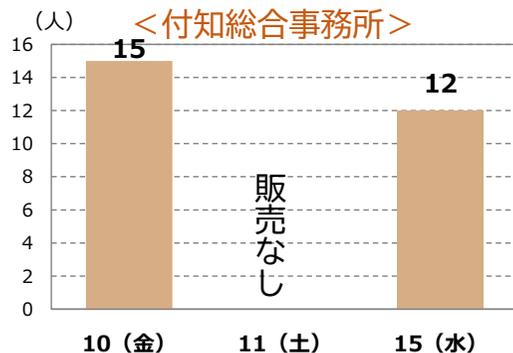
▼運行ルート



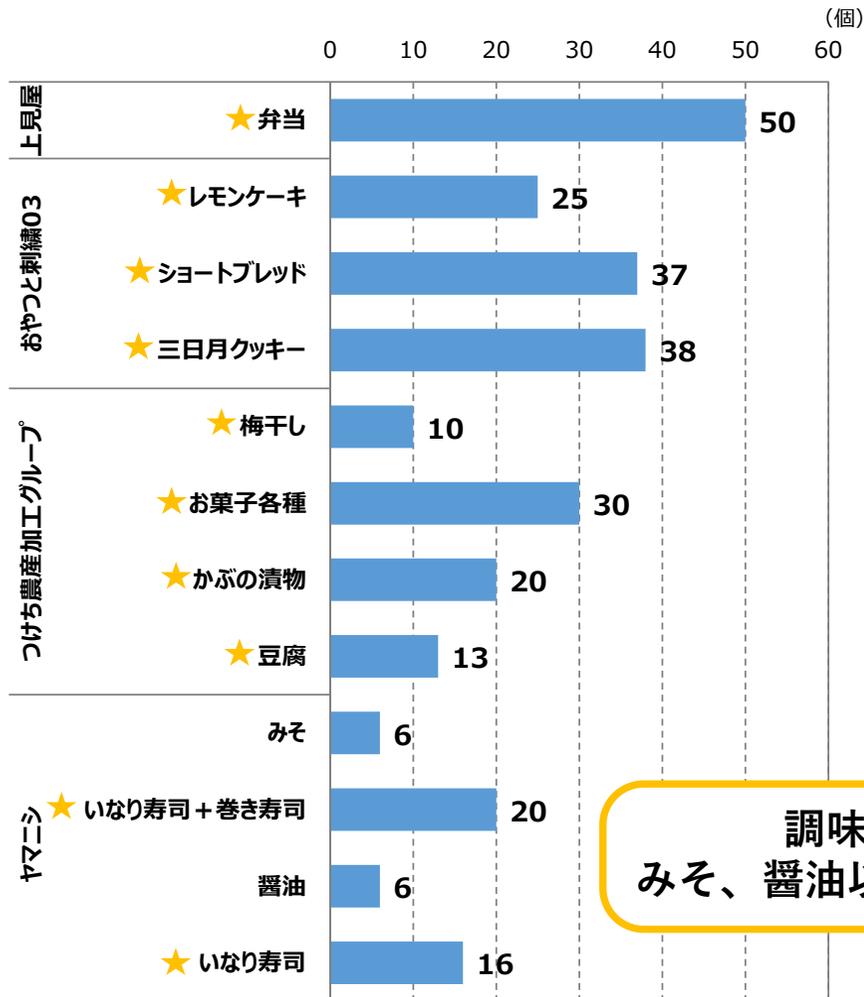
4. 実施結果 実験3：移動販売

- ・ 購入者数は、平日は就業者の集中する「付知総合事務所」、休日は「道の駅 花街道付知」が多い。
- ・ 調味料であるみそ、醤油は売れ残ったものの、一定数購入されている。その他の商品は完売。

▼ 箇所別 購入者数



▼ 商品別売上個数



調味料の
みそ、醤油以外は完売！

★ : 完売した商品

5. 検証に向けた調査

・ 社会実験の効果や今後の検討の基礎データとして、3つの調査を実施。調査・分析を進めている。

■ プロブパーソン調査

調査期間：実験前1週間＋実験後1週間
対象：実験車両を1度以上利用
いただける方 約50名

▼プロブパーソン調査イメージ



■ 利用者アンケート調査

・ 実験参加者に手渡し配布。

<アンケート内容>

- ・ 利用回数
- ・ 利用の目的
- ・ 利用のしやすさ、感想 等

▼住民アンケート調査票

中津川市 社会実験に関する住民アンケート調査票

今回実施した社会実験についてお聞きします。

実験期間中、以下の3つの社会実験を行いました。

1. 町内全域でも使える「移動手段変更」
2. 移動手段変更イメージ
3. 移動車両イメージ

【問1】住所（地区を記載してください） 【問2】世帯人数について、お教えてください。

【問3】世帯の方全員について、お教えてください。（※赤字のものは、高齢の方から記載ください）

世帯構成人員	性別	年齢	職業	自動車運転免許	通勤・通学先	通勤・通学にかかると交通費
記入例	男性	6	1	1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返却した	1.付知町内 2.付知町内 3.その他（市・町）	約 〇〇〇 万円
世帯主	1.男性 2.女性			1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返却した	1.付知町内 2.付知町内 3.その他（市・町）	約 〇〇〇 万円
2人目	1.男性 2.女性			1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返却した	1.付知町内 2.付知町内 3.その他（市・町）	約 〇〇〇 万円
3人目	1.男性 2.女性			1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返却した	1.付知町内 2.付知町内 3.その他（市・町）	約 〇〇〇 万円
4人目	1.男性 2.女性			1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返却した	1.付知町内 2.付知町内 3.その他（市・町）	約 〇〇〇 万円
5人目	1.男性 2.女性			1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返却した	1.付知町内 2.付知町内 3.その他（市・町）	約 〇〇〇 万円
6人目	1.男性 2.女性			1.持っている 2.持っていない 3.持っていたが返却した	1.付知町内 2.付知町内 3.その他（市・町）	約 〇〇〇 万円

【問4】世帯で保有している自動車の台数について、お教えてください。

自動車	車種	購入金額	購入時期	今後の予定
1.1台目	1.乗用車 2.軽乗用車 3.自動車 4.軽自動車	約 〇〇〇 万円	約 〇〇年 〇〇月	1.買い替え予定あり → 約 〇〇年 〇〇月 2.手放す予定あり → 約 〇〇年 〇〇月 3.今後未定
2.2台目	1.乗用車 2.軽乗用車 3.自動車 4.軽自動車	約 〇〇〇 万円	約 〇〇年 〇〇月	1.買い替え予定あり → 約 〇〇年 〇〇月 2.手放す予定あり → 約 〇〇年 〇〇月 3.今後未定
3.3台目	1.乗用車 2.軽乗用車 3.自動車 4.軽自動車	約 〇〇〇 万円	約 〇〇年 〇〇月	1.買い替え予定あり → 約 〇〇年 〇〇月 2.手放す予定あり → 約 〇〇年 〇〇月 3.今後未定

【問5】保有している自動車について、お答えください。（赤字のものは、利用頻度が低いものを記載してください）

【問6】社会実験の実施についてご存じでしたか？

【問7】実験に参加されましたか？

【問8】「参加していない」と答えた方にお聞きします。参加しなかった理由は何ですか？

【問9】付知町地区に必要だと思うサービスは、実験1～3のどれですか？

【問10】自動運転技術の導入を見越した「まちづくり」にご興味や関心はありますか？

【問11】自動運転技術の導入を見越した「まちづくり」に期待することはありますか？

～裏面に続きます～

■ 住民アンケート調査

・ 付知町地区 全世帯に郵送配布。

<アンケート内容>

- ・ 世帯での自動車保有、通勤・通学費用
- ・ 実験の認知、利用の有無
- ・ 想定される自動運転車両の利用シーン
- ・ 利用への支払い意思額
- ・ 自動運転を活用したサービス導入時の生活の変化（車両・免許保有） 等

地元木工所さんと協働したバス停の製作

早川泰輔事務所

バスルートの検討
バス停設置箇所の検討実験内容と
コンセプトの共有デザインの検討
設置方法の検討
使用する木材の選定

木材の加工

バス停名のペイント

バス停の設置

紹介パネルの製作と
取り付け東京大学
交通・都市・
国土学研究室

バス停のコンセプト

「木のまち」付知らしさを表現する

：早川泰輔事務所の倉庫で保管されていた古材（ヒノキ・クリ・カシ）を再利用。木馬の材料となるカシを使うなど、付知ならではのバス停を目指した。

まちの景観に馴染むデザインとする

：一つ一つの木材の個性を生かすため、表面を磨くなどの加工はせず、まるで原木が立っているようなデザインを意識した。

バス停を通してその場所の歴史に触れてもらう

：地域の皆さんへの聞き取り調査を行い、それぞれの場所の歴史を紹介するパネルや古写真パネル、地図パネルを製作し、バス停に取り付けた。



明治初年、飛騨道から分岐して王滝村へと至る御嶽道が開通すると、付知は御嶽山の参拝道として多くの信者で賑わいました。昭和二十年、飛騨道が改修整備されると、街道筋が完成すると、街道に多くの商店、飲食店、旅人宿が軒を連ねました。明治期以降の付知の町を潤したのは、御嶽山に向かう信者や山仕事に従事する出稼ぎの労働者、付近農村から製糸工場へと通う女性たちなどでした。

このあたりは広屋林と呼ばれますが、「広屋」を屋号とする屋敷の林があつたことに由来します。広屋林は明治期以降の商業の中心地となり、特に多くの店が集積しました。明治八年創業の上見屋は、街道を行き交う人々が体を休めた宿屋として、現在までその面影を残しています。

参考：付知町史



